

## 【A】 6. 日常点検

1. 事業用自動車は1日1回、運行前に目視等により自動車を点検するように定められています。点検の結果不良箇所があった場合には、必要な整備をしてから運行を開始しなければなりません。運行前の日常点検は、貨物自動車運送事業にとっては欠くことのできない重要な業務です。
2. 整備管理者は、法の定めにより、その業務として運転者または検査員が点検した結果により、自動車の運行の可否を決定する義務があります。
3. 運行管理者は、業務前の点呼において、点検の実施またはその確認を行うことが義務付けられています。すなわち、運行の可否は、整備管理者の決定に従わなければなりません。

日常点検表				
登録番号又は車番		整備管理者名 印		
点検実施者名		補助者名 印		
		年 月 日		
点検箇所	点検項目	点検結果(○・×)		
運転席での点検	ブレーキ・ペダル	踏みしろ、ブレーキのきき	踏みしろ ブレーキのきき	
	駐車ブレーキ・レバー(パーキング・ブレーキ・レバー)	引きしろ(踏みしろ)	引きしろ (踏みしろ)	
	原動機	※ かかり具合、異音	かかり具合 異音	
		※ 低速、加速の状態		
	ウィンド・ウォッシャー	※ 噴射状態		
	ワイパー	※ 拭き取りの状態		
◎ 空気圧力計	空気圧力の上がり具合			
◎ ブレーキ・バルブ	排気音			
エンジンルームの点検	ウィンド・ウォッシャー・タンク	※ 液量		
	ブレーキのリザーバ・タンク	液量		
	バッテリー	※ 液量		
	ラジエータなどの冷却装置	※ 水量		
	潤滑装置	※ エンジン・オイルの量		
	△ ファン・ベルト	※ 張り具合、損傷	張り具合 損傷	
車の周りからの点検	灯火装置、方向指示器	点灯・点滅具合、汚れ、損傷	点灯・点滅具合 汚れ 損傷	
	タイヤ	空気圧		
		亀裂、損傷	亀裂 損傷	
		異状な摩耗 ※ 溝の深さ		
	◎ エア・タンク	タンク内の凝水		
	◎ (ブレーキ・ペダル)	※ (踏みしろ、ブレーキのきき)		踏みしろ ブレーキのきき
運行において異状が認められた箇所	運行可否の結果		可 ・ 否	

1 ※印の点検項目は、自動車の走行距離や運行時の状況などから判断した適切な時期に行えばよいものです。  
2 ◎印の点検箇所は、エア・ブレーキが装着されている場合に点検して下さい。  
3 △印の点検箇所は、「自家用乗用車など」に分類される自動車にあっては、定期点検の際に実施するなどして下さい。  
4 □印の点検項目は、「大型車」の場合に点検して下さい。  
5 点検終了後は、整備管理者等に結果を報告し、整備管理者等は点検結果を確認し車両の運行可否を決定し、確認の押印等をして下さい。

詳細については、42ページのURL又はQRコード参照

雪道を走行する可能性がある場合の安全確保の徹底

施行日: 令和3年1月26日

・整備管理者は、雪道を走行する自動車のタイヤについて、溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度(※)よりもすり減っていないことを確認すること。

・運行管理者は、雪道を走行する自動車について、点呼の際に上記事項が確認されていることを確認すること。  
※国内メーカー等の冬用タイヤでは、使用限度の目安として、溝の深さが新品時の50%まですり減った際にプラットフォームが溝部分の表面に現れる。

### 【チェックポイント】

- ・日常点検を行っていますか？ ☐
- ・運行可否の決定を、整備管理者又は整備管理者補助者が行っていますか？ ☐
- ・日常点検簿に整備管理者の確認印が押印されていますか？ ☐
- ・日常点検簿は整理されていますか？ ☐

項目判定

☐ 適 ☐ 否